

# 平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

## ■ 施設名

洋光台地域ケアプラザ

## ■ 事業報告

### 1 全事業共通

#### 地域の現状と課題について

住宅地（集合住宅と戸建て）と洋光台駅周辺の商業地からなるこの地区は、年々高齢化率が高まり、磯子区全体の平均（26.8%、平成 29 年 3 月 31 日現在）を上回る 31.6% となり、30%を超えています。区域内にも特徴があり、洋光台 1 丁目や 6 丁目のように 20%前半の地域から 2 丁目のように 40%に迫る地域もあります。また、どの地域でも高齢者世帯（単身世帯を含む）の割合も高く、見守り支援など地域での支えあいの体制が課題となっています。こうした状況の中で、自治会町内会をはじめ、地区社会福祉協議会や民生委員児童委員協議会の活動、スイッチ ON 磯子洋光台推進協議会の取り組みでも、見守り支援体制や災害時要援護者避難支援事業、高齢者の食事会や交流サロン、認知症予防カフェなど、年々活動が活発に展開されています。

また、坂道やエレベーターのない集合住宅が多いことが、移動等に支障のある高齢者や障害者の行動を制限する要因にもなっています。このため磯子区社会福祉協議会の送迎サービスには、多くの相談が寄せられている現状があります。この課題については、地域ケア会議でも取り上げられ、元気づくりステーションや洋光台フィットネス等の介護予防や健康づくりの活動の重要性にもつながっています。

一方、集合住宅等には若い世代も多く、子育て支援や世代間交流の機会も必要となっています。この点についても、プレイパーク等の地域ぐるみの子育て支援や世代間交流を目的とした様々な活動が展開されています。

このような状況の中、地域活動も活発ですが、一方で、担い手が不足している状況もあります。そのため新たな担い手の育成も課題となっています。

地域ケアプラザとしてこうした地域課題の解決に向けた活動の支援はもとより、個別相談での支援、また、解決に向けた自主企画事業に取り組んでいきます。

### (1) 相談（高齢者・こども・障害者分野等の情報提供）

相談・情報提供については、ケアプラザ窓口の他に、ケアプラザ自主事業や健康相談会、出前サロン、認知症予防カフェ等で実施しました。地域の様々な社会資源や機関・団体の活動状況等の情報を収集して、さらにケアプラザ内で共有しながら、問い合わせや相談、各事業にて情報提供しました。

#### ◆ 高齢者

地域包括支援センターの総合相談にて情報提供をしました。（包括支援センター項目で後述）

#### ◆ こども

子育て支援事業（交流スペースぷらっと等）にて、子育ての悩みに応えたり、地域情報のチラシを配布しました。また子育てサークル等へも地域情報を提供しました。

#### ◆ 障害

「幸 café」（お母さんの悩み相談、NPO法人との共催で月1回金曜日に実施）にて相談を受け、情報提供しました。また障害児余暇活動支援事業（ボクらのピース）を通じて、参加児童の保護者にも情報提供等をしました。

また総合相談の中で、専門機関である生活支援センターや基幹相談支援センターと連携が必要なケースもあり、適切に対応しました。

### (2) 各事業の連携

日常業務での情報共有以外に、毎朝のミーティングや月1回の運営推進会議などの会議でも情報共有や課題検討を行いました。

また地域包括支援センター、地域交流、生活支援部門が地域のニーズを把握しながら連携して取り組んでいる事業として、

- ① ほほえみ体操クラブ
- ② 認知症サポーター養成講座
- ③ 消費生活推進委員活動支援
- ④ 保健活動推進員活動支援
- ⑤ 地域サロン「えんがわ」支援
- ⑥ 元気づくりステーション活動支援
- ⑦ 認知症&予防カフェ「えんがわ」支援
- ⑧ 洋光台フィットネス活動支援

等があり、それぞれ個別支援～地域の課題解決に向けて実施しました

### (3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

職員体制については適切に配置しており、欠員の状態はありませんでした。通所介護では基準以上の介護職員を配置して、よりきめ細かなケアに努めました。

職員全体の研修として、マナー研修、認知症研修、人権研修、個人情報保護研修、事故防止研修等の内部研修を実施しました。また各専門職の資質向上のために外部研修に参加し、ミーティングでの報告や報告書を回覧する等、内容の共有をしました。

（外部研修）

- ・ 精神保健福祉基礎研修
- ・ 高齢者虐待防止研修
- ・ 介護予防支援業務研修
- ・ 退院調整に関する研修会
- ・ 在宅医療・看取りに関する研修会
- ・ ファシリテーション研修
- ・ 消費者被害防止に関する関係機関職員研修
- ・ 協働入門研修 等々

また業務を通じた研修（OJT）を重視しており、同じセクションの職員同士での情報共有やアドバイスを行いました。また、部門間での連携のため、運営推進会議などを通じてお互いの情報を共有することにも力を入れました。

また、総合相談窓口での居宅介護支援事業所やサービス事業所等の事業所選定、ケアプラザ利用者のサービス利用等において、公正・中立性が確保されるよう、ケアプラザ全体の課題として取り組みました。

#### (4) 地域福祉保健のネットワーク構築

あらゆる機会を活用して地域のネットワーク構築に努めました。

- ・ 地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会  
個々のケースの相談や定例会等で情報交換、情報提供をしました。
- ・ スイッチON磯子、洋光台地区推進協議会  
地区推進協議会に参加して、地区内の各事業の把握や計画の推進に取り組みました。
- ・ 洋光台まちづくり協議会  
役員として会の運営やハロウィン等のイベントに協力しました。また夢環境部会のメンバーとして、プレイパークの運営に協力しました。
- ・ 洋光台フィットネス  
リーダー養成やステップアップ講座を開催しました。また、リーダー同士のつながりづくりとして交流会を行いました。地域内のイベントに参加して、洋光台フィットネスの普及活動に協力しました
- ・ 地域活動ネットワーク・洋光台 わっふる  
交流会や広報紙「わっふる」の発行などを通じて地域活動の支援やネットワークを推進しました。
- ・ 洋光台地区子育て支援連絡会  
連絡会に参加し、各団体との情報交換や情報共有を行いました。連絡会をきっかけに、子育てに関する事業を通して、子育て支援拠点「いそピヨ」との連携を強化しました。その中で地域活動ネットワーク・洋光台「わっふる」主催の地域活動交流会や多世代交流事業の企画の参加、出張子育て広場の開催を行いました。
- ・ 洋光台地域防災拠点運営委員会  
運営委員として会議と訓練に参加し、地域防災に関して地域の方との連携を図りました。
- ・ 認知症&予防カフェえんがわ  
地域の方が開催している認知症カフェに参加し、運営に協力しました。
- ・ 発達障害児者地域支援ネットワーク連絡会  
連絡会に参加して、発達障害児者支援の情報を共有しました。
- ・ 磯子区自立支援協議会  
防災をテーマとした会に参加し、顔の見える関係づくりと情報の共有を図りました。
- ・ 五街区みどりアップ委員会  
地域緑化計画に地域部会として参加し、計画作成に協力しました。五街区自治会と地域のつなぎ役として取り組みを進めていきます。
- ・ キャンドルナイト実行委員会  
メンバーとして、キャンドルナイトの運営や大学生の活動支援を行いました。

## (5) 区行政との協働

- ・スイッチ ON 磯子（洋光台地区）の推進については、補助金対象事業に各自治町内会が取り組んでおり、毎年着実に事業が増えています。ケアプラザとしても、推進協議会へ所長と地域交流コーディネーターが参加、また事業への協力を通じて、地域福祉保健計画の推進に力を入れました。

### 第三期計画の取り組みとして

#### ①身近な地域の支え合い推進…

各推進団体に対して、会場の提供や周知の協力

（歌声喫茶、サロンえんがわ等）と、職員派遣

（一丁目ふれあいの和、さわやか食事会、梅の里まつり、中央茶話会、六街区ふれあいの輪五街区お楽しみサロン等）を行い、取組を支援しました。

#### ②地域ぐるみの健康づくりの推進…

老人クラブ、地域のサロン、イベント等で「洋光台フィットネス」の普及を行いました。

#### ③自由テーマ

職員を派遣して、プレイパーク活動に協力しました。（月2回）

- ・寄り添い型学習支援事業の推進に向けて、教室スペースを提供する等、事業に協力しました。  
（週2回、主に月・水曜日の夜間）
- ・区役所、区社会福祉協議会との情報共有と地域アセスメントを目的に、三者で定期的に洋光台地区エリア会議を開催しました。（みる・きく・つなぐ地区別連絡会）

## 2 地域活動交流事業

### (1) 自主企画事業

- ・事業の実施にあたっては、地域ケアプラザの他部門と連携し、地域ニーズに応じた事業を様々な分野で展開しました。
- ・子育て事業では、洋光台一丁目町内会や地域子育て支援拠点いそぴヨ等と協力し、洋光台1丁目にて出張子育てひろばを開催しました。親子の交流スペース「ぷらっと」では、ランチ専用の時間を設け、参加親子が過ごしやすくなるよう工夫しました。希望の多かった氷遊びも取り入れました。また、「にこにこ」や「わんわんくらぶ」の助成金申請や周知等の活動支援も行っています。
- ・新たな人材発掘とつながりづくりの取り組みとして、UR都市機構や洋光台第二小学校等と協力し、「防災身につく講座（全5回）」を開催しました。そのなかで、グループで行うワークショップや体験の機会を増やし、参加者同士交流ができるよう工夫しました。講座終了後、参加者が地域の防災の先生として洋光台第二小学校の4年生に対して授業を行いました。
- ・「地域活動ネットワーク・洋光台“わっふる”」が主体となり、地域の交流会（年2回）やパネル展（年1回）、お花見ウォーキング（年1回）、わっふるまつり（年1回）を企画し運営しています。お花見ウォーキングでは、多世代交流と地域を知ることがを目的に、ベビーカーや杖でも参加できるようルートや距離を工夫しています。
- ・障害：ボクらのピース、ドレミ、なつとも
- ・多世代交流：ちくちく、夏の涼みルーム、劇団横綱チュチュ公演
- ・高齢：みんな de ランチ、ほほえみ体操

## (2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・活動の場として、多くの団体の方が利用できるよう、貸室の調整を行っています。利用時には、利用時間や部屋を分かりやすくするためバインダーを用意しました。
- ・気持ちよくご利用いただけるように、記入式のチェックシートを作成し、貸室の清掃に協力していただきました。合わせて「ケアプラ応援隊」として、スリッパ等の備品の手入れなどの環境美化にも協力していただいています。
- ・地域活動紹介冊子を活動紹介のツールとして活用しています。また、情報誌“わっふる”にも団体紹介スペースを新たに設けました。
- ・わっふるまつりを通して、地域住民に向けて直に活動紹介をする場を作りました。そのなかで新たなつながりが生まれ、コラボイベントの開催が行われました。

## (3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ・ボランティア活動のきっかけとして、シニアボランティア登録研修会を行い、子育て応援隊（保育ボランティア）やオレンジボランティア等について説明しました。
- ・ボランティア活動の呼びかけを、ケアプラザ通信への掲載だけではなく、階段横にスペースをつくって、多くの人の目に留まるよう工夫しました。
- ・ボランティアに限らない地域の様々な活動団体の情報収集や情報提供、活動団体間の情報交換の場を提供するなど、地域活動団体のネットワーク推進を目的に、「地域活動ネットワーク・洋光台 “わっふる”」を行っています。

## (4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・地域で行われている様々な活動（自治会、老人クラブ等）に参加し、情報収集・情報交換を行いました。
- ・地域ケアプラザ通信（年4回）や掲示用ミニ通信（毎月）、ブログ（随時）等をケアプラザに関する情報発信ツールとして活用しています。
- ・情報交換や交流の場として、「地域活動ネットワーク・洋光台 “わっふる”」が主体となり、定例会や地域の交流会を開催しています。その中で、子ども～高齢者が意見を出し合える場とするため、街の交流会を2回開催するうちの1回を休日に行いました。
- ・情報誌“わっふる”（年4回）やイベント情報カレンダー（毎月）を発行し、ケアプラザや結 Café等で配架しています。
- ・地域ケアプラザ通信の内容を見直しました。自主事業の案内や報告だけではなく、地域行事の様子も掲載しています。また、タイムリーな話題が提供できるよう、紙面の内容について5職種で話し合う場を設けています。
- ・館内外の掲示や配架が分かりやすく見やすいものになるよう、サブコ会議で検討しています。

# 3 生活支援体制整備事業

## (1) 事業実施体制

- ・所長、地域包括支援センター、地域活動交流コーディネーターのサポートを得ながら、男性の社会参加を目的に「男の料理教室」を開催しました。また、本をきっかけにした人とのつながりをもつ活動である「まちライブラリー」を、1階玄関ホールに設置しました。
- ・定例の生活支援コーディネーター連絡会で区内の地域ケアプラザと情報共有を図りました。また、区役所・区社協へ随時相談することで、生活支援体制整備事業の方向性や認識を共有しました。

## (2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ・毎朝の地域包括支援センターとのミーティングに参加し、個別ニーズや地域の相談傾向を把握する中から生活課題やニーズの把握に努めました。
- ・地域の集いや行事、会議へ積極的に参加しました。地域住民や担い手の方々と連携し、課題の抽出に努めました。地域活動団体紹介冊子を配布し、情報提供しました。

## (3) 連携・協議の場

- ・前年度に開催した「消費者被害防止を通じた地域づくりに向けた連携・協議の場（協議体）」を受けて、「消費者被害ニュース」を毎月発行しました。地域住民の方に常に最新の情報を提供するため、様々な集まり・活動の場で配布したり、各町内会の掲示板で周知していただきました。
- ・高齢者の移動に関する課題解決を目的に、磯子区社会福祉協議会の移動情報センターと共催で、「外出・付き添いサポーター講座」を開催しました。

## (4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ・区役所・区社協・区内の生活支援コーディネーターに相談をして、情報を共有しました。区外の先駆的な取り組みについて、実際に出向いて情報収集しました
- ・区レベル地域ケア会議（1層協議体）の検討委員会にケアプラザを代表して参加しました。検討委員会では会議の設置方法について学ぶことができ、区レベル地域ケア会議では、地域の見守りについて様々な職種や団体の方との意見交換ができました。

# 4 地域包括支援センター運営事業

## （1）総合相談支援業務

### ①地域におけるネットワークの構築

- ・地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターと協力し、地域の社会資源・ネットワークの把握に努めました。
- ・包括レベル地域ケア会議・連携協議の場での検討から、地域の様々な情報を集約した洋光台版「消費者被害ニュース」を始めました（作成は生活支援コーディネーター）。配布・配架の依頼を通じて地域の関係各所・団体とのネットワーク構築に努めました。
- ・地域のサロンや会議に参加し、ネットワークの構築に努めました。

### ②実態把握

- ・担当圏域の高齢化率等の情報を収集、認知症サポーター養成講座、地域ケア会議で取り上げ、高齢者をささえるまちづくりの必要性を伝えていく際の資料としました。
- ・総合相談の相談傾向を分析し、個別ケース地域ケア会議のケース選定を行ないました。
- ・両コーディネーターと協力し、自費ヘルパーの一覧表を作成し、医療機関、移送サービスや食事サービス、自治会独自のサービス、地域の活動等、各種インフォーマルサービス等の情報収集・整理に努め、地域住民やケアマネジャー等への情報提供

を行っています。

- ・洋光台地区エリア会議（みるきくつなぐ地区別連絡会）では、これまでの地域アセスメントを元に、町歩きを実施しました。今年度は六丁目と一丁目を歩き、それまで知らなかった地域の歴史について学び、地図上では分からない坂の様子や、実際に歩くことで分かる地域の特徴や施設などを確認しました。生活支援コーディネーターの取組である『外出・付き添いサポーター講座』にもつながっています。

### ③総合相談支援

- ・高齢者および家族が抱える様々な生活の困り事、課題に応じて、介護保険だけでなく、適切なサービス、関係機関につなげるようにしています。今年度の傾向は、日常生活全般の課題についての相談数が増加しています。
- ・平成10年からデータベースソフトにて相談歴や介護保険情報などを積み上げています。
- ・「窓口当番」「地域包括支援センター日誌」を設け、相談体制を確保しています。朝のミーティングには地域交流・生活支援コーディネーターも参加しています。
- ・個別相談と事業展開の双方向の連動に努め、介護者のつどい、ほほえみ体操、元気づくりステーション等に、総合相談で把握した方を個別にお誘いしています。事業やサロン参加者で気になる方については自然な形で総合相談につなぐと共に見守りを継続しています。
- ・総合相談の傾向および地域特区性を分析し、地域ケア会議のテーマを設定しています。
- ・区・包括定例カンファレンスにて、世帯支援が必要なケースや虐待ケース等について共有し、支援方針を検討しています。

## （2）権利擁護業務

### ①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ・権利擁護に関する相談ケースは、地域の特性から、キーパーソンとなる近しい親族がいない高齢者が多くおられます。年々ケースは複雑化しており、相談内容に適した権利擁護制度を見立て、相談者にわかりやすく説明するよう努めました。
- ・今年度の申立支援件数は、法定後見12ケース、任意後見2ケース、あんしんセンター5ケースとなっています。
- ・親族による後見申立ては、丁寧に面談を重ね、申立人が主体的に取り組めるよう申立書作成の支援やアドバイスを行いました。
- ・第三者後見人とは、就任後もカンファレンスや同行訪問等、継続的なフォローを行っています。
- ・あんしんセンターと契約しているケースに、区社協と連携して継続支援を行っています。
- ・洋光台地区消費生活推進員への側面的支援を行い、介護予防講座と認知症カフェにて消費者被害防止講座を共催しました。
- ・消費者被害に関する個別相談から、洋光台地区で同じような被害が発生している事実を掴み、近隣住民等へ注意喚起を行いました。そこから、地域ケア会議～協議体を経て取り組んだ洋光台版『消費者被害ニュース』（作成は生活支援コーディネーター）には個別相談の内容を反映しています。
- ・地域住民向けに「磯子区版エンディングノート書き方講座」「遺言・相続講座」を開催しました。遺言・相続講座は、無料個別相談会を同時開催し、相続遺言・成年後見の相談の掘り起こしを行いました（11組）。エンディングノートの普及に関して

は、NPO 法人生活サポートクラブからご協力のお申し出をいただき、次年度に向けて協議中です。

## ②高齢者虐待への対応

- ・ 高齢者虐待ケースは、特に丁寧に三職種で相談・意見交換を重ね、法律家等と連携しながら対応しました。今年度は特に、消費者被害や生活困窮、離別後の成年後見を含んで、弁護士の助言を受けながら対応するケースが続きました。区・包括カンファレンスでも検討を行い、区高齢・障害支援課と協働して支援しました。
- ・ 認知症サポーター養成講座では、介護する家族の気持ちの項目を取り入れ、養護者支援の普及啓発に努めました。
- ・ 介護者のつどい「アンサンブル」を月1回開催しました。ピアカウンセリングによる介護負担軽減を図っています。参加者から誘われて参加したり、つどいの終了後にも参加者同士が交流する場面がみられる等、よい雰囲気で開催されています。今年度は、毎月5名前後の介護者の方にご参加いただけました。介護者同士が安心して語り合える場を提供し、介護者が孤立することのないように努めました。
- ・ 男性に限定した介護者のつどい「男カフェ」を開催しました。10月は4名の参加があり、男性介護者特有の介護に対する意見交換ができました。介護を頑張り過ぎて抱え込んでしまわないよう、虐待防止の視点を入れて開催しています。3月に今年度2回目を開催予定です。
- ・ いずれの介護者のつどいも、募集のチラシを掲示板に掲示し、これまで参加された方にはチラシを郵送しました。また、総合相談時に案内したり、ケアマネジャー経由でご家族に案内して頂きました。チラシも温かみをだすよう手描きの挿絵を入れ工夫しています。
- ・ 昨年度に続き、養護者支援の一環として「家庭介護スキルアップ教室（全2回）」を開催しました。介護技術の演習のほか、介護者同士の情報交換、介護上の苦労を傾聴する機会となりました。

## ③認知症

- ・ 認知症サポーター養成講座は、今年度は1月末までに計7回開催、合計298名の認知症サポーターを養成しました。うち3回は、地域住民有志で構成される「劇団ポレポレ」との共催で行いました。UR職員研修は港南区・金沢区の地域ケアプラザと協力して実施、各団地の管理事務所と包括職員の関係づくりの機会にもなりました。また、今年度はじめて小学6年生の人権教育の一環として実施しました。教員と打合せを重ねて目的に沿った内容・寸劇を作りました。児童からは「認知症は特別でないとわかった」「自分で出来ることを行動してみたい」等の感想の発表がありました。中学校3年生の福祉体験の事前学習、UR職員研修など、受講者にあわせて内容を組み立てています。いずれも包括と生活支援・地域交流と協働して企画・開催しました。
- ・ オレンジボランティアの普及啓発に関しては、プラザ通信に募集の記事を掲載し、ボランティア登録の際には必ず案内をしています。
- ・ 認知症でかつ緊急度の高いケース1件について、認知症初期集中支援チームに相談し助言を受けました。個別ケースでは、いなほクリニック、うちのパークサイドクリニックをはじめとする地域の医療機関と連携しながら対応しています。
- ・ 「磯子区徘徊高齢者あんしんネットワーク」の普及啓発を継続し、現在までの登録者



は79名にのぼっています。

- ・住民の自主的活動で始まった認知症&予防カフェ「えんがわ」には毎回ケアプラザ職員が参加し、ミニ講座を行っています。

### (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

#### ①地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・磯子区内の居宅介護支援事業所の新規受付可能状況を年6回確認（磯子区主任ケアマネジャー連絡会が担当）、相談者へ情報提供しています。
- ・磯子区全体での取り組みとして、「民生委員・ケアマネジャー連絡票」の活用を継続しています。情報は年2回、情報更新を行っています。対象者の状況に応じて、民生委員とケアマネジャーが直接連絡を取り合えるよう、地域包括支援センターが橋渡しをしています。具体的には、ケアマネジャーが民生委員へ連絡を取りたいときに、包括に相談して頂き、包括から民生委員に連絡をとり、了解を得てケアマネジャーへ連絡先をお伝えしています。連携を取ることで一人暮らし高齢者が安心して生活できるよう支援しています。
- ・民生委員と顔の見える関係づくりを心掛け、個別の相談支援を行いました。
- ・スーパーマーケットや新聞販売店を訪問し、認知症等高齢者あんしんネットワーク事業や包括支援センターの周知を行いました。
- ・地域のサークル活動や自費サービスのファイルを作り、ケアマネジャーや相談者に情報提供を行いました。情報は随時更新しています。

#### ②医療・介護の連携推進支援

- ・医療福祉関係者を交えた包括レベル地域ケア会議を実施しました。『在宅看取り』をテーマとし、グループワークを行うことで、地域住民と医療関係者が情報を共有して意見交換することができ、協力体制を築くことが出来ました。
- ・ケアプラザ協力医と定期的に情報交換を行なっています。ケアマネジャーに対する個別相談会も行いました。
- ・「かけはし」と共催し、ケアマネジャーへ研修を行いました。

#### ③ケアマネジャー支援

- ・ケアマネジャーが抱える困難ケースの相談を受け、一緒に対応しました。今年度も利用者の家族に障害（精神、パーソナリティ）があるケースの相談が多く、傾聴や助言、同行訪問を行ないました。ケアマネジャー交代の相談もありサポートしました。
  - ・磯子区主任ケアマネジャー連絡会として、区内の地域包括支援センターの協働により、下記の取り組みを行いました。
- ①「新任ケアマネジャー研修」2回、「ケアマネサロン拡大版」6回を開催しました。
  - ②「磯子区デイサービス・デイケア情報シート」の情報更新を行い、サービス事業所、居宅介護支援事業所へ配布しました。

#### (4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

##### 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ・今年度は個別ケース地域ケア会議を2回、包括レベル地域ケア会議を1回開催しました。
- ・個別ケース地域ケア会議では、一人暮らしの認知症高齢者を支えるゆるやかな見守り、隣近所の支え合いと地域力（地域での活動）を取り上げました。それぞれ関わりのある方やテーマに沿った方にご参加いただき、個別支援の充実や情報共有、お互いの連携促進につながりました。
- ・包括レベル地域ケア会議では「洋光台における在宅看取り」をテーマに取り上げました。自治町内会、民生委員、地域の活動団体、医療専門職、介護保険サービス事業所、区、区社協など、様々な方々にご参加いただきました。それぞれの経験等を踏まえ、いつも以上に活発なグループワークになりました。
- ・次年度以降も、在宅看取りをテーマに包括レベル地域ケア会議を開催する予定です。

#### (5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

##### 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ・ケアプラン作成委託先のケアマネジャーへ、地域で自主的に行っている体操やサロン、元気作りステーション、認知症カフェ、配食などの紹介や、地域の介護保険外自費サービス事業者の情報を案内しました。その結果、地域の活動やインフォーマルサービス等、ケアプランに反映され、地域生活を総合的に捉える視点に繋がりました。
- ・ケアマネサロン拡大版にて、介護予防ケアマネジメントケアプラン作成の研修を行ないました。インフォーマルサービスを取り入れたケアプラン作成のグループワークを行いました。また、自分らしい生活の目標設定ができるように促しました。
- ・ケアプラン作成委託先のケアマネジャーとは個別に面談し、ケアプランに対し助言を行ないました。可能な限りサービス担当者会議に参加しました。

#### (6) 一般介護予防事業

##### 一般介護予防事業

- ・地域に出向き、体力測定や健康講座、健康相談を合計14回行いました。
- ・冬期に、介護予防の視点を取り入れた講演会を2回実施しました。
- ・洋光台6丁目の方々を中心に洋光台地域ケアプラザにて介護予防連続講座を開催、11月で終了となりました。次年度の4月以降、主な活動内容をウォーキングとする元気づくりステーションとして継続されることになりました。地域交流コーディネーターと協力し、講師の調整や会場の確保等を行っています。
- ・既存の「元気づくりステーション」が継続的に安定した活動ができるよう、区高齢・障害支援課、両コーディネーター、自治会とともに運営に関する支援を行いました。（南部：ケアプラザ、中央：四丁目自治会館、北部：北団地集会所、北団地第二集会所、一丁目町内会館）
- ・洋光台の元気づくりステーション同士の交流を目的に、事務局の方々と連携して交流会を開催し、作業療法士の金山桂先生による講演会を行いました。

## 施設の適正な管理について

### (1) 施設の維持管理について

施設を快適に利用できるように、各設備について専門業者による定期点検、修理交換を下記のとおり実施しました。

- ◆施設内設備点検、電気設備点検、エレベーター点検（毎月）
- ◆消防設備点検（年2回）
- ◆玄関自動ドア点検（年3回）
- ◆全館床・窓清掃（年6回）
- ◆植栽管理（随時）
- ◆設備修理・調理室ガスコンロ・オープン交換、多目的ホール照明交換(LED) 玄関自動ドア更新

### (2) 効率的な運営への取組について

地域ケアプラザの事業運営は効率性が不可欠ですが、30年度も職員間の連携を密接に図り、効率的な運営に努めてきました。具体的には、毎日の部署ごとのミーティングや日常的な部署間の打合せ、また、毎月運営推進会議を開催することでケアプラザ事業全体の情報共有を図り、一体的な援助や支援活動を行い、効率的な運営を行いました。

また、総務や経理面でも運営法人と連絡を密にして効率的な運営に努めました。

- ◆運営推進会議（運営状況の共有・確認、各委員会での検討等）毎月1回開催
- ◆職員ミーティング（各部署における情報共有、検討等）毎日

### (3) 苦情受付体制について

各部門に苦情受付窓口（担当者）を設置し、また「ご意見箱」を設置して利用者の意見を聞きました。利用者の意見は真摯に受け止めて、苦情検討委員会にて課題分析と改善に向けての検討を行いました。

- ◆苦情検討委員会（毎月開催）

#### ◆利用者アンケートの実施

部門毎にアンケートを実施し、集計・検討を行い、今後のサービス向上につなげました。

アンケートの集計結果とケアプラザの対応について、ロビーにて閲覧できるようにしました。

#### (4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

火災や震災等の緊急時の対応については、施設管理者を中心としたチームを結成して、行政機関等の関係機関との連携を図りながら、初期段階での迅速かつ適切な対応をする体制をとっています。

特別避難場所としての機能を図るため、災害備蓄品の定期補給と食糧の備蓄を行いました。

施設の閉館時間帯の警備については、機械警備（警備会社に委託）による体制をとりましたが、施設に絡む犯罪は発生しませんでした。

- ◆防災訓練（避難訓練・初期消火訓練 10月・3月）
- ◆AED取扱訓練（9月）
- ◆地域防災訓練への参加（洋光台第四小学校防災拠点訓練 1月）

#### (5) 事故防止への取組について

事故防止については、各部門での事故発生リスク（設備管理、衛生管理、個人情報管理、介護業務、運転業務等）を十分に確認しながら安全管理を行い、職員全体で事故発生防止に取り組みました。

通所介護では、利用中の介護事故の発生リスクが比較的高くなりますが、事故検討委員会（毎月開催）にて、事故（ヒヤリハット事例を含む）の原因分析、再発防止の検討を行い、発生の防止に取り組みました。

#### (6) 個人情報保護の体制及び取組について

運営法人で規定されている個人情報関連の規則により、個人情報保護に取り組みました。また、全職員に対して個人情報管理マニュアルの周知徹底と個人情報チェックシートによる個人情報理解度チェック等、個人情報保護研修を行いました。

日々の業務では、通所介護の連絡帳の返却時、介護サービス関係書類のFAX送信時や郵送時には、ダブルチェックを行う等の取組をしました。

#### (7) 情報公開への取組について

ケアプラザの事業については、広報紙や各事業のチラシを洋光台地区の自治会町内会の掲示板や回覧にて周知しているほかに、当ケアプラザのブログ等を活用しながら、情報提供しています。

29年度事業報告（決算報告）と30年度事業計画（予算）については、ケアプラザ内ロビーにて閲覧できるよう設置しました。

情報公開については、地域ケアプラザ情報公開規程に基づき対応しています。

#### (8) 人権啓発への取組について

人権擁護に関する研修を開催し、対人援助職、市民利用施設職員としての人権に対する意識啓発に努めました。各種配布物や掲示物などの表現が人権意識を踏まえた内容であるか等の確認をしました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

ゴミの処理については、「ヨコハマ3R夢」でのゴミの減量や分別に取り組みました。できる限りゴミを発生させないことやペーパーの再利用等、無駄のない資源の活用にも努めました。

電力消費については、30年度も照明の減光をこまめにするなど引き続き取り組みました。

- ◆省エネの取組            室温の適正管理、照明の減光、節水等
- ◆地域作業所のペットボトルキャップ・リサイクル活動協力（回収箱設置）
- ◆プリンターインクカートリッジ回収事業協力（回収箱設置）

## 介護保険事業

### ● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

#### 《職員体制》

地域包括支援センター職員 4名

事務員 1名

#### 《目標に対する成果等》

- ・ケアプラン作成委託先のケアマネジャーへ、地域で自主的に行っている体操やサロン、元気作りステーション、認知症カフェ、配食などの紹介や、地域の介護保険外自費サービス事業者の情報を案内しました。その結果、地域の活動やインフォーマルサービス等、ケアプランに反映され、地域生活を総合的に捉える視点に繋がりました。
- ・ケアマネサロン拡大版にて、介護予防ケアマネジメントケアプラン作成の研修を行いました。インフォーマルサービスを取り入れたケアプラン作成のグループワークを行いました。また、自分らしい生活の目標設定ができるように促しました。
- ・ケアプラン作成委託先のケアマネジャーとは個別に面談し、ケアプランに対し助言を行いました。可能な限りサービス担当者会議に参加しまし

#### 《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
301	295	300	302	298	295
10月	11月	12月	1月	2月	3月
300	295	301	300	309	310

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

主任介護支援専門員 2 名  
介護支援専門員 3 名

《目標に対する成果等》

利用者の心身の状況や意向等を考慮して適切な居宅サービス計画を作成しました。サービス調整については、地域包括支援センターや関係諸機関と密接な連携を図り、効果的かつ効率的に実施できるよう取り組みました。

また、地域包括支援センター併設事業所の特性をふまえて、特別な配慮を必要とする認知症独居高齢者等の対応をしました。

《利用者実績》

【単位：人】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
59	61	61	64	67	71
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
72	76	75	73	79	82

● 通所介護

《提供するサービス内容》

- 相談援助、個別機能訓練、移動や排泄の見守り、健康状態の確認、食事、入浴、送迎等のサービスを提供しました

《実費負担》

● 1割負担分

(要介護1)	662	円
(要介護2)	782	円
(要介護3)	905	円
(要介護4)	1,030	円
(要介護5)	1,154	円

● 加算

サービス提供体制	20	円
入浴介助	54	円
中重度ケア体制	49	円
介護処遇改善加算Ⅰ	所定単位数の59/1000	

- 食費負担 700 円

《事業実施日数》 週 6 日

《提供時間》 9:30~16:30

《職員体制》

管理者	1名	
生活相談員	5名	(内4名は介護職員と兼務)
看護職員	5名	
介護職員	23名	(内4名は生活相談員と兼務)
機能訓練指導員	5名	(看護職員との兼務)
介助員	2名	

《目標》

利用者が自立した日常生活を営むこと及び利用者の家族の負担を軽減することを目標に、利用者の心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じて入浴、排泄、食事等の介護等を行うとともに機能訓練をしました。また、利用者の家族に介護方法のアドバイスをしました。

サービスにあたっては、居宅介護支援事業者や他のサービス事業所等と綿密な連携を取りながら、きめ細かなサービスとなるよう努めました。

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
663	714	658	689	633	619
10月	11月	12月	1月	2月	3月
721	672	643	616	647	687



● 介護予防通所介護・第1号通所事業

提供するサービス内容

- 相談援助、運動器機能向上訓練、移動や排泄の見守り、健康状態の確認、食事、入浴、送迎等のサービスを提供しました。

《実費負担》

- 1割負担分
  - (要支援1) 月額 1,766円
  - (要支援2) 月額 3,621円
- 加算
  - ・サービス提供体制加算(Ⅰ)イ 要支援1 78円  
要支援2 155円
  - ・運動器機能向上加算 242円
  - ・介護処遇改善加算Ⅱ 所定単位数の59/1000
- 食費負担 700円

《事業実施日数》 週 6 日

《提供時間》 9:30~16:30

《職員体制》

管理者 1名  
 生活相談員 5名 (内4名は介護職員と兼務)  
 看護職員 5名  
 介護職員 23名 (内4名は生活相談員と兼務)  
 機能訓練指導員 5名 (看護職員との兼務)  
 介助員 2名

《目標》

利用者が自立した日常生活を営むこと及び利用者の家族の負担を軽減することを目標に、利用者の心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じて入浴、排泄、食事等の介護等を行うとともに介護予防となるよう運動器向上訓練に力を入れました。また、利用者の家族に介護方法のアドバイスをしました。

サービスにあたっては、居宅介護支援事業者や地域包括支援センター、他のサービス事業所等と綿密な連携を取りながら、きめ細かなサービスとなるよう努めました。

《利用者実績(契約者数)》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
31	28	27	32	31	29
10月	11月	12月	1月	2月	3月
31	33	31	29	28	28